



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年8月7日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 タクミナ

コード番号 6322 URL <http://www.tacmina.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山田信彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経理部長

(氏名) 吉田裕

TEL 06-6208-3971

四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,420	98.3	△11	—	△7	—	△6	—
24年3月期第1四半期	1,444	109.6	62	—	65	—	23	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△1.11	—
24年3月期第1四半期	3.87	3.86

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	7,707	3,924	50.8	631.06
24年3月期	8,025	4,056	50.5	652.83

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 3,916百万円 24年3月期 4,049百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	17.00	17.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,300	3.5	210	△19.2	207	△17.6	130	△4.7	20.96
通期	7,000	2.8	610	△4.7	600	△2.8	380	31.6	61.34

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、3ページ【2. サマリー情報(その他)に関する事項(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用】をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、3ページ【2. サマリー情報(その他)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示】をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	6,440,450 株	24年3月期	6,440,450 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	233,783 株	24年3月期	237,883 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	6,204,834 株	24年3月期1Q	6,192,662 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は添付資料の3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	3
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間の経済環境は、欧州債務危機の再燃、新興国の成長率の鈍化、円高の定着による輸出企業の収益悪化など、国際経済を中心に下振れリスクが重くのしかかり、景気の先行きに不透明な影を落としています。

こうした状況のもと、当社を取り巻く受注環境は、国内は、企業の設備投資に大口案件が乏しく、昨年のような東日本大震災の復旧需要を中心としたプラントメーカーからの特需案件もなく、全般的に低調でした。一方、海外は、水処理プラント案件の引合いが増えました。

品目別では、主力の定量ポンプは、前年同期のプラント特需案件が減ったほか、「スムーズフローポンプ（高精度ダイヤフラムポンプ）」が塗工・電池を中心としたケミカル・電子材料市場で減少しました。

ケミカル移送ポンプは、汎用的なエアクションポンプは減少したものの、前期に受注した海外向け「ムンシュポンプ（高耐食ポンプ）」の大口物件で売上が伸びました。

また、海外展開の一環として平成24年6月には、世界3大化学プラントショーのひとつであるドイツの「アヘマ2012」に出展、「スムーズフローポンプ」をはじめとした精密定量ポンプの技術を紹介し注目を集めました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は14億20百万円（前年同四半期比1.7%減）と減少しました。

利益面では、昨年度に竣工した第1工場の減価償却費の増加等から売上原価率が2.6ポイント上昇し、売上総利益は5億47百万円（前年同四半期比8.0%減）となりましたが、販売費及び一般管理費が5億59百万円（前年同四半期比5.1%増）となったために、営業損失11百万円、経常損失7百万円、四半期純損失6百万円とそれぞれ減益となりました。

品目別販売実績は次のとおりであります。

【品目別販売実績】

期 別 品目別	前第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
定 量 ポ ン プ	780	54.0	748	52.7	△ 32	△ 4.2
ケ ミ カ ル 移 送 ポ ン プ	148	10.3	179	12.6	30	20.4
計 測 機 器 ・ 装 置	241	16.7	216	15.2	△ 24	△ 10.3
流 体 機 器	92	6.4	101	7.1	9	10.0
ケ ミ カ ル タ ン ク	114	7.9	101	7.1	△ 13	△ 11.7
そ の 他	67	4.7	74	5.2	6	10.0
合 計	1,444	100.0	1,420	100.0	△ 24	△ 1.7

（２）財政状態に関する定性的情報

当第１四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて３億17百万円減少し、77億７百万円となりました。

流動資産は３億67百万円減少し、42億47百万円となりました。主な増減内訳は、現金及び預金の減少１億３百万円、売上債権の減少２億53百万円、短期所有の有価証券の減少89百万円、棚卸資産の増加１億３百万円であります。

固定資産は49百万円増加し、34億60百万円となりました。主な増減内訳は、有形固定資産の増加12百万円、投資有価証券の増加46百万円であります。

負債につきましては、前事業年度末に比べて１億85百万円減少し、37億83百万円になりました。

流動負債は１億24百万円減少し、22億60百万円となりました。主な増減内訳は、仕入債務の減少46百万円、短期借入金の増加90百万円、未払法人税等の減少１億48万円、賞与引当金の減少１億２百万円であります。

固定負債は60百万円減少し、15億23百万円となりました。主な減少内訳は、長期借入金の減少19百万円、退職給付引当の減少40百万円であります。

また純資産は、前事業年度末に比べて１億32百万円減少し、39億24百万円となりました。主な減少内訳は、四半期純損失６百万円に加え配当金１億24百万円の支払いによる利益剰余金の減少１億30百万円によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は0.3ポイント上昇し50.8%となりました。

（３）業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期につきましては、当社を取り巻く経済環境は予想以上に厳しいものの、当第１四半期累計期間における売上及び受注等の業績については想定範囲内の進捗であることから、現時点においては、平成24年５月９日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

当第１四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却の方法の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期会計期間より、平成24年４月１日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第１四半期累計期間の営業損失、経常損失及び税引前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

4. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	811,402	707,980
受取手形及び売掛金	3,044,030	2,790,407
有価証券	89,988	—
商品及び製品	56,114	69,205
仕掛品	1,624	2,312
原材料及び貯蔵品	451,837	541,088
その他	163,075	139,118
貸倒引当金	△3,197	△2,994
流動資産合計	4,614,876	4,247,118
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,164,588	1,143,571
機械及び装置(純額)	144,479	154,154
土地	609,568	618,639
その他(純額)	166,832	181,722
有形固定資産合計	2,085,468	2,098,088
無形固定資産	77,983	74,644
投資その他の資産		
投資有価証券	655,972	702,284
関係会社株式	9,840	9,840
その他	584,284	578,959
貸倒引当金	△2,607	△3,059
投資その他の資産合計	1,247,489	1,288,025
固定資産合計	3,410,941	3,460,757
資産合計	8,025,818	7,707,876
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,327,584	1,280,690
短期借入金	387,112	477,112
未払法人税等	151,377	2,965
賞与引当金	194,000	91,941
その他	325,060	407,671
流動負債合計	2,385,134	2,260,381
固定負債		
長期借入金	673,610	654,332
再評価に係る繰延税金負債	37,686	37,686
長期未払金	197,519	197,519
退職給付引当金	668,828	628,076
その他	6,160	5,709
固定負債合計	1,583,805	1,523,323
負債合計	3,968,939	3,783,704

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年 3 月31日)	当第 1 四半期会計期間 (平成24年 6 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	892, 998	892, 998
資本剰余金	732, 111	732, 294
利益剰余金	2, 489, 003	2, 358, 093
自己株式	△118, 767	△116, 720
株主資本合計	3, 995, 345	3, 866, 666
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	42, 274	40, 783
繰延ヘッジ損益	1, 458	△865
土地再評価差額金	10, 171	10, 171
評価・換算差額等合計	53, 904	50, 089
新株予約権	7, 628	7, 415
純資産合計	4, 056, 878	3, 924, 171
負債純資産合計	8, 025, 818	7, 707, 876

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	1,444,986	1,420,540
売上原価	849,506	872,884
売上総利益	595,480	547,656
販売費及び一般管理費	532,506	559,491
営業利益又は営業損失(△)	62,973	△11,835
営業外収益		
受取利息	1,958	2,140
受取配当金	2,943	4,673
投資有価証券売却益	—	137
受取保険金	4,065	—
その他	1,692	3,127
営業外収益合計	10,660	10,079
営業外費用		
支払利息	2,518	3,477
売上割引	989	1,110
投資有価証券売却損	2,206	—
投資有価証券評価損	1,548	—
為替差損	719	986
その他	607	—
営業外費用合計	8,589	5,574
経常利益又は経常損失(△)	65,044	△7,330
特別利益		
新株予約権戻入益	78	—
特別利益合計	78	—
特別損失		
固定資産除売却損	50	398
役員退職慰労金	21,167	—
特別損失合計	21,217	398
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	43,905	△7,729
法人税等	19,962	△871
四半期純利益又は四半期純損失(△)	23,942	△6,858

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。